

研究指導の概要

■ スポーツ国際開発学共同専攻

【課程：修士課程】

学年	学期 モジュール		研究内容及び指導方法等
1 年 次	春	ABC	<p>入学時、新入生たちは以下の2科目0AVA111 Research Method (研究方法論) と0AVA401 IDS Seminar: International Development and Peace through Sport (スポーツ国際開発学課題演習) を履修しながら、研究方法論の基礎知識(研究目的、リサーチクエスション、理論、研究方法、データ分析など) を身に着ける。また研究倫理についても学び、体育系研究倫理講習会の受講を完了させる。実指導教員の指導の下、研究テーマと構想を確定させる。</p> <p>春A</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会科学と自然科学+質量調査法の違い・研究倫理の学習(週1本以上) 2. レビュー方法の指導とIDS領域の分野横断的な先行研究の学習(週1本以上) <p>春B</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. 仮テーマを見つけるための先行研究の学習(週1本以上) 4. 仮テーマに近い先行研究における方法論や理論の学習(週1本以上) <p>春C</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. 現実的な対象者選定を踏まえた研究テーマの絞り込み(週1本以上) 6. 仮研究テーマの確定および研究の新規性の確認(週1本以上)
	秋	ABC	<p>学生たちは修士論文のテーマについて先行研究を収集し、問題や課題を明らかにし、理論と研究方法論、対象者の選定を行い、体育系の研究論理申請の準備をする。論文執筆の方法と参考文献の作成の仕方についても学ぶ。また翌年度の年間研究プランを立てる。</p> <p>秋A</p> <ol style="list-style-type: none"> 7. 仮テーマにおける研究目的・課題の仮案作成(週1本以上) 8. 研究目的・課題を明らかにするための理論枠組みの検討(週1本以上) <p>秋B</p> <ol style="list-style-type: none"> 9. 理論枠組みの決定と研究方法論の確定・研究倫理の復習 10. データ収集・素データ分析・理論分析を含む研究計画の策定 <p>秋C</p> <ol style="list-style-type: none"> 11. 仮テーマに合わせた仮研究(データ収集・素データ分析・理論分析) 12. 研究倫理書類の作成・完成・提出

学年	学期 モジュール		研究内容及び指導方法等
2 年 次	春	ABC	<p>2年目の春には多くの学生が海外でインターンシップを行うため、修士論文のデータ収集を始めるように指導している。インタビュー項目や調査の再確認を行い、人権や研究倫理に反していないか確認する。</p> <p>春A 13. 目次案の作成・データ収集開始</p> <p>春B 14. データ収集・素データの仮分析・目次案の修正</p> <p>春C 15. データ収集・素データの仮分析・目次案の修正 16. 研究結果の理論的分析・考察・論理性の確認</p>
	秋	ABC	<p>10月下旬にの中間報告会を行う。副指導教員からのフィードバックをもとに修正を行い、翌年1月に行われる修士論文提出と口述試験の準備をする。指導教員は英語表現をチェックし、また理論の使い方、方法論、結果、考察の中で齟齬がないか確認をする。</p> <p>秋A B 17. 研究の途中経過に係るスライド作成・中間報告準備・発表 18. 研究考察を基にした研究課題に対する結果の検討・執筆</p> <p>秋C 19. 修士論文の最終校正・完成・提出 20. 研究サマリー・抄録・発表資料の作成・発表</p>